



有限会社 吉田工業

vol.31

2025年7月15日発行





工事一課

SHIMONO KENTARO

下野 健太郎

2014年、有限会社吉田工業に中途入社し、工事一課の最前線で活躍している下野健太郎さん。多様な現場経験を重ねながら、「安全」と「誠実さ」を大切にしてくださいといえます。確かな技術で現場を支える下野さんに、入社の際やこれまでの苦労、仕事に対する信念や今後の目標を語っていただきました。

入社の際を教えてください。

もともとは外注という形で吉田工業の仕事を受けていました。2年ほど経過した頃に、周囲の人たちから「社員としてやってみたらどうか」と声をかけられ、転職を考え始めました。思い切って社長に「社員として雇っていただけませんか」と直談判したところ、「君がそう言うならいいよ」と快く引き受けてくださったのです。今思

えば、あのときの行動が自分にとっての大きな転機だったと思います。

入社後、どのような業務を担当されましたか。

最初は除染作業から現場に入りました。当時は原発事故の影響で、除染作業の需要が高かった時期だったのです。しかし、この業務は吉田工業の社員と接する機会が少なく、入社した当初は会社に属しているという実感が湧きませんでした。

その後、放射線管理の仕事を経て、呉羽化学工業株式会社（現・株式会社クレハ）のいわき事業所に配属され、機械のメンテナンス業務に携わるように。メンテナンス業務では、工場内にある脱水機や遠心分離機、モーターやポンプなどの分解・整備・組み立てを担

当していました。これまでの業務とは全く異なり、最初は大きな戸惑いがありましたね。

印象に残っている

業務はありますか。

機械のメンテナンス業務を担当するようになって、より一層緊張感を持つようになりました。中でも印象に残っているのは、「デカンター」という非常に大きな機械の整備です。重量もサイズも桁違いで、高所から吊り下げて解体するため、ほんの少しのミスでも命取



りになりかねません。高い集中力と判断力が求められる業務でした。

分解整備後に異音がしたり、思うように動かなかったりと、さまざまな失敗を重ねるたびに克服の仕方を覚えていきました。自分だけで解決しようとせず、周囲の人たちに相談して、一緒に原因を探る。いわき事業所では吉田工業の社員が私1人だけという環境だったので、他社の方々とコミュニケーションを取らなければなりません。気軽に相談できる雰囲気ではなかった分、タイミングを気にしながら相談していました。

業務中に

大切にしている

考え方はありますか。

何よりも「安全第一」です。私たちの現場は、常に危険と隣り合

わせ。だからこそ、作業に入る前にどのような危険があるかを確認し、チーム内で情報を共有する。

これが怪我を防ぎ、安全に仕事を進めるために欠かせないルーティンだと思っています。成果や効率も大事ですが、それ以前に命や健康を守ることを最優先にしながら、現場での業務に臨んでいます。

今後の目標、意気込み

をお聞かせください。

2025年4月から常磐共同火力株式会社の勿来火力発電所に移り、現在はタービンの分解整備に携わっています。最近では、「セン

ターリング」といって、機械同士の接続部分のズレを調整する作業を担当しました。非常に繊細な作業で、今以上に知識と想像力が必要だと痛感しています。経験を積みながら、自分の中でイメージで

きる力を身につけていきたいと考えています。

まだまだ自分には知識や経験が不足していることを自覚しているので、一つひとつの現場で自分の引き出しを増やしていくことが目標です。そして、どのような現場でも、安全に、確実に、チームの一員として役割を果たせる技術者でありたいと思います。

安全と向き合い、技術を磨き続ける下野さん。その真摯な姿勢が、これからも吉田工業の現場力を支え、後輩たちの道しるべとなっていくでしょう。

企業情報

設立年：1987年5月12日

年商：12億円

※2023年3月時点

My応援ソング



仕事で困難に直面したとき、気持ちが沈んだとき、皆さんの背中を押してくれる「応援ソング」はありますか?今回は2名の方に、それぞれの「応援ソング」について語ってもらいました。選んだ曲と、そこに込められた熱い想いが伝わってきます。

総務部・人事部

しんか ふうか

新家 楓佳さん



工事二課 課長

こまつ だいすけ

小松 大介さん



藤田麻衣子の

私の応援ソングは……

「素敵なのが

あなたを待っている」



派遣で心が折れそうなときに励まされた

産休・育休が明け、4月から本社勤務となりました。この曲は以前、別の事業所で派遣として働いていたときに励まされた曲です。当時、事業所が遠かったため通勤に1時間かかり、朝は早く帰りが遅いなど、体力的に辛く感じていました。また、派遣という立場であることに不安を感じ、心が折れそうなことも……。そのようなときにこの曲を聴いて、「この先には楽しいことや嬉しいこと、ポジティブなことが絶対ある!」と思いつつ気持ちを高めました。そして今、**念願の第一子に恵まれ、「辛かった経験も、子どもという『素敵なこと』に繋がったのでは」と**感じています。

おすすめポイント

「今」にフォーカスした歌詞が心に響く

この曲には「よくがんばってきたね よくがんばってきたよ」という歌詞があり、曲を聴くと「私、がんばってきたから、もっとがんばろう」と思えます。また、「素敵なのが待っている」と信じていることが励みにもなります。

歌詞の中でも、特に響くフレーズが「悔しいと思う気持ち決して無駄じゃないよ 全て未来へ繋がっていく そのために今があるね」。人生山あり谷ありで、どんな瞬間も今しかありません。この曲を聴くと、「そのための今なんだな」と感じます。

シャ乱Qの

私の応援ソングは……

「シングルベッド」

悲しい曲なのに元気が出る!

失恋ソングですが、落ち込んだときにこの曲を聴くと元気になります。「恋は石ころよりもあふれると思ってたなのにダイヤモンドより見つけれない」という歌詞が好きで、悲しい内容ながらも、心が沈んだときにかえって元気をもらえます。工事のスケジュールが雨などで思うように進まないときなどにも、「明日もがんばろう」という気持ちになります。

おすすめポイント

同僚の小川さんに歌ってもらおう!

オリジナルも良いのですが、**同僚の小川さんが歌う「シングルベッド」が大好きです。**仕事が終わった後などにカラオケでいつも歌ってくれるのですが、元気が出るだけでなく、お酒も進みます。小川さんとは仕事で苦楽をともにした思い出もあり、私にとって特別な曲のひとつです。

今回は、

八巻さんと羽深さんの
応援ソングをご紹介します!



前例なき挑戦、その最前線へ。

東新潟火力発電

第二期

工事レポート

稼働中の発電所に新たな設備を増設する。全国的にも珍しく、業界の注目を集めるこのプロジェクトを、統括部の木村部長が率いています。会社の技術力と誇りを胸に、前例のない挑戦に奮闘するメンバーの姿を追いました。

現場概要

東新潟火力発電の第二期工事

こちらの現場は東北電力様が発注されたもので、2024年度に続く第二期工事にあたります。本工事期間は2025年4月1日から10月31日までを予定。主な工事内容は、発電所の構内で使用される配管の取り付けと、それに伴うボイラー機器の据え付けです。現在、約60名のメンバーがこのプロジェクトに携わっています。

現場での工夫

他業者も注目！安全管理を徹底

この工事は、現在も稼働を続ける発電所に新たな設備を増設するという、全国的にも珍しい事例です。作業自体は、配管の据え付けなどこれまでの経験が活かされるものですが、稼働中の建物内に新しいラインを通すという、特殊な環境下での作業となります。そのため、他業者からも注目されていて、お客様からは高い意識で作業に臨んでほしいとの要望がありました。

そうした中、安全管理で最も重視しているのは、周辺で稼働中の機器やケーブルなどを損傷させないことです。また、現場は発電機の熱で高温になるため、休憩や水分補給を徹底し、熱中症対策にも万全を期しています。



統括部 部長

きむら ひろゆき

木村 博幸さん



現場で目指していること

共に学び、成長できる環境

配属された3名の新入社員には、まず現場の雰囲気慣れてもらうことを大切にしています。**将来、様々な業務に関わる全体の流れを掴んでもらうことが狙いです。**また、この現場は若手や中堅社員にとっても、貴重な学びの機会となっています。配管業務に不慣れな社員が多いため、この機会に技術を習得してほしいと考えています。さらに、協力会社の方々と連携し、安全に作業を進めるための管理業務を学ぶことも重要なテーマです。この現場が、関わる全員にとって共に成長できる貴重な機会となるように心がけています。

YOSHIDA Voice Box



新人の本音、 未来への提言

フレッシュな新人の石田さんとルエンさんに、会社への率直な想いを伺いました！会社の魅力や温かい人間関係を語る一方、新人だからこそ気づくことができる改善点や未来への期待もお話いただきました。

現在の業務と仕事のやりがい

仕事環境は基本的には安全で、みなさんと楽しく働いています。ただ、時々危険なこともあり、まだまだ勉強中です。社長含め面白い方ばかりで、とても良い会社だと思います。

吉田工業の好きなところ

危険と隣り合わせの作業の中、みなさん責任を持って働いているところです。
現場ではいつも安全に！

会社への提案

みなさん仕事熱心で互いに協力し合う職場のため、現状ありません。
今後もっとこんな取り組みや制度があったら良いなというのが思いついたら、ぜひ提案していきたいと思います！



工事一課
ヴ・ディン・ルエンさん

期待すること

仕事で頑張った人にちょっとした褒美があれば、もっとモチベーションが上がると思っています。

現在の業務と仕事のやりがい

専門知識の習得に奮闘中

従来の火力発電所で、タービンの分解および組み立て作業に従事しています。2025年3月に入社したばかりということもあり、日々の業務は新しい知識や技術習得の連続です。覚えるべき知識や技術は、まさに山のようにあります。発電所は、私たちの日常生活に欠かせない電気を生み出す重要な社会インフラです。そのような社会の根幹を支える仕事に、入社して間もないうちから携われることに、大きな責任感とやりがいを感じます。



工事一課
いしだ あさひ
石田 旭さん

吉田工業の好きなところ

温かい人間関係と 恵まれた学習環境

現場では10歳以上年の離れたベテランの先輩方と共に作業を進めています。入社前は、厳しい指導を覚悟していました。しかし、実際にはみなさんととても優しく、親身に指導してくれることに良い意味でのギャップを感じています。特にありがたいと思うのは、その指導方法です。先輩がまず手本を示し、その直後に私が実践するという形で、業務を直接教わっています。言葉での説明に加えて、実際の動きをすぐそばで見られることは、理解を深めるために非常に効果的です。わからないことがあっても質問しやすく、丁寧なフィードバックがあるため、安心して業務に取り組むことができます。このような恵まれた環境で社会人としての一步を踏み出せたことに、深く感謝しています。



会社への提案

基本作業の 確認ツール作成

今はまだ、日々の業務を覚えることに精一杯で、数年後のキャリアを具体的に描く余裕はありません。まずは基礎的な技術の一つひとつ着実に身につけたいと思います。例えば、最初に教わる「縄の縛り方」のような基本作業について、手順を確認できる動画教材があれば、さらに学習が深まると感じます。休憩時間や業務の合間に、スマートフォンや会社のタブレット端末で確認できれば、記憶の定着にもつながり、より効率的に技術を習得できるのではないのでしょうか。

期待すること

社員同士が顔見知りになれる 交流の機会を

幸いなことに、次の現場も現在の先輩方と一緒にできるため、人間関係に対する不安はありません。しかし、今後全く新しいチームで業務にあたる可能性を考えると、事前に他部署の方々と交流できる機会があれば、より一層安心して業務に臨めると思います。会社全体の懇親会のような大規模なものでも構いません。一緒に仕事をする可能性のある方々と、短時間のミーティングや昼食を共にするだけでも、円滑な関係構築の一助となるはずです。

